

**ASCET V6.2**  
インストールガイド



## 著作権について

---

本書のデータを ETAS GmbH からの通知なしに変更しないでください。ETAS GmbH は、本書に関してこれ以外の一切の責任を負いかねます。本書に記載されているソフトウェアは、お客様が一般ライセンス契約または単一ライセンスをお持ちの場合に限り使用できます。ご利用および複写はその契約で明記されている場合に限り、認められます。

本書のいかなる部分も、ETAS GmbH からの書面による許可を得ずに、複写、転載、伝送、検索システムに格納、あるいは他言語に翻訳することは禁じられています。

© **Copyright 2013** ETAS GmbH Stuttgart, Germany

本書で使用する製品名および名称は、各社の（登録）商標またはブランドです。

Document EC019906 V6.2 R01 JP - 10.2013

---

## 目次

1	はじめに	5
1.1	安全に関する注意事項	5
1.1.1	適切な製品の使用について	5
1.1.2	安全に関する注意事項の記述書式	5
1.1.3	本製品に関する特殊な注意事項	6
1.2	本書について	6
1.2.1	本書の構成	6
1.2.2	本書の使用方法	7
2	プログラムのインストール	9
2.1	準備	9
2.1.1	製品の内容	9
2.1.2	システム要件	10
2.1.3	インストールと運用に必要なユーザー特権	10
2.2	ディスクからのインストール	11
2.2.1	ASCET 基本システムのインストール	12
2.2.2	ASCET-MD およびその他の ASCET 製品のインストール	16
2.2.3	特殊な条件でのインストール	17
2.2.4	コマンドラインからのインストール	21
2.3	ネットワーク経由のインストール	22
2.3.1	ネットワークドライブからの ASCET 製品のインストール	22
2.3.2	ネットワークインストールのカスタマイズ	22
2.4	ASCET ディレクトリ	29
2.4.1	デフォルトのデータディレクトリ	29
2.4.2	デフォルトディレクトリの変更	30
2.5	ASCET のアンインストール	30
2.5.1	自動アンインストール	31
2.5.2	カスタムアンインストール	33

<b>3</b>	ソフトウェアのライセンス管理 .....	35
<b>3.1</b>	ETAS のライセンスモデル .....	35
<b>3.2</b>	ライセンスの取得 .....	35
<b>3.3</b>	ライセンスファイル .....	36
<b>3.4</b>	グレースモード .....	39
<b>3.5</b>	「有効期限についての警告」ダイアログボックス .....	39
<b>3.6</b>	ライセンスの借用 .....	40
<b>4</b>	お問い合わせ先 .....	42
	索引 .....	43

## 1 はじめに

「ASCET 製品ファミリー」は、組み込みソフトウェアシステムのファンクション開発とソフトウェア開発のための革新的なソリューションを提供するものです。各 ASCET 製品は、新しい独自のアプローチによって、モデリング、コード生成、シミュレーション実験、といった開発工程の各段階を強力にサポートするので、品質向上や開発サイクルの短縮、さらにコスト低減を実現できます。

本書は、ASCET 製品のインストール方法、およびそれに関連する情報を説明するものです。製品の機能や操作方法などについての情報は、各製品のマニュアルやオンラインヘルプをご参照ください。

### 1.1 安全に関する注意事項

本製品を使用する際には、ユーザーの負傷やデバイスの損壊などを避けるため、製品の信頼性に関する免責条項（「ETAS Safety Advice - 安全上の注意事項」）、および下記の注意事項をよくお読みいただき、その指示に従ってください。

#### 1.1.1 適切な製品の使用について

製品の不適切な使用や安全に関する注意事項に従わないことにより生じた一切の損害について、ETAS GmbH は責任を負いません。

#### 1.1.2 安全に関する注意事項の記述書式

本書内に記述されている安全に関する注意事項には、下記の標準シンボルが併記されます。



安全に関する注意事項は以下の書式で記述されます。これらの情報は必ずよくお読みください。



#### **警告！**

中程度の危険性に関する注意事項です。記載事項を守らないと、重傷や生命の危険を招く可能性があります。



#### **注意！**

軽度の危険性に関する注意事項です。記載事項を守らないと、軽～中程度の負傷を招く危険性があります。



#### **注記**

物的損傷を招く可能性のある挙動についての説明です。

### 1.1.3 本製品に関する特殊な注意事項

---

本製品を安全に使用するには、一般的な注意事項に加え、以下の特殊な要件も守ってください。

- 本製品の準備や操作を行う前に、本製品を使用する環境が所定の条件を満たしていることを確認してください。各条件については、使用する PC やハードウェアのドキュメントを参照してください。



#### 警告！

不適切に初期化された NVRAM 変数は、車両やテストベンチの予期しない挙動を生じさせる危険性があり、安全が脅かされる状況を招く恐れがあります。

ASCET-RP ターゲットの NVRAM 機能を使用する ASCET プロジェクトでは、**ユーザー定義された**初期化プロセス内で、すべての NV 変数の値がカレントプロジェクトに対して有効な状態になっているかを、個々の NV 変数単位および他の NV 変数との関連性においてチェックする必要があります。

データ保存に関する NVRAM の特性から、不適切な初期値が使用されることにより人体や装置が傷付けられる可能性のある環境内（車上やテストベンチなど）においてプロジェクトが使用される場合は、この要件を**厳守**してください。

さらに、製品 DVD に収められている ASCET V6.2 安全マニュアル（ASCET Safety Manual.pdf）に記載されている注意事項もよくお読みください。このドキュメントは製品インストール時に ETASManuals¥ASCET V6.2 フォルダにコピーされ、また ETAS ホームページのダウンロードセンターからダウンロードすることもできます。

## 1.2 本書について

---

### 1.2.1 本書の構成

---

ASCET インストールガイドは、以下の章で構成されています。

- 「はじめに」（本章）  
本書に関する一般的な説明です。
- 「プログラムのインストール」  
この章は、PC またはネットワーク上に ASCET をインストールし、ASCET プログラムのメンテナンスやアンインストールを行うすべてのユーザー、および ASCET をファイルサーバーに供給してネットワーク経由のインストールを行うシステム管理者を対象としています。ここでは、製品の内容、スタンドアロンインストールとネットワークインストールに必要なハードウェアやソフトウェアの要件、インストールの準備作業、インストールとアンインストールの手順も紹介されています。
- 「ソフトウェアのライセンス管理」  
ASCET を使用するためのライセンスについての情報（ライセンスファイルの入手方法、ライセンスの借用方法など）が説明されています。
- 「お問い合わせ先」  
ETAS の各支社の連絡先です。

## 1.2.2 本書の使用法

---

### 表現について

---

ユーザーが実行するすべてのアクションは、いわゆる“Use-Case”形式で記述されています。つまり以下に示すように、操作を行う目標がタイトルとして最初に簡潔に定義され（例：「新しいコンポーネントを作成する」、「エレメントの名前を変更する」）、その下に、その目標を実現するために必要な操作手順が列挙され、必要に応じてASCETのウィンドウやダイアログボックスのスクリーンショットが添付されています。

### 目標の定義：

---

前置き ...

- 手順 1  
手順 1 についての説明 ...
- 手順 2  
手順 2 についての説明 ...
- 手順 3  
手順 3 についての説明 ...

まとめ ...

### 具体例：

#### 新しいファイルを作成する：

---

新しいファイルを作成する際は、他のファイルをすべて閉じておきます。

- **File** → **New** を選択します。  
“Create file” ダイアログボックスが開きます。
- 新しいファイルの名前を、“File name” フィールドに入力します。  
ファイル名は 8 文字以内でなければなりません。
- **OK** をクリックします。

新しいファイルが作成され、ユーザーが指定した名前で作成されます。このファイルを使用して以降の操作を行います。

### 表記上の規則

---

本書は以下の規則に従って表記されています。

表記例	説明
<b>File</b> → <b>Exit</b> を選択して、...	メニューコマンドは、 <b>青の太字</b> で表記します。
<b>OK</b> をクリックして、...	ユーザーインターフェース上のボタン名は、 <b>青の太字</b> で表記します。
<b>&lt;Ctrl&gt;</b> を押して、...	キーボードの各キーは、 <b>&lt;&gt;</b> で囲んで表記します。
“Open File” ダイアログボックスが開きます。	プログラムウィンドウ、ダイアログボックス、入力フィールド等のタイトルは、“ ” で囲んで表記します。

表記例	説明
setup.exe ファイルを選択します。	リストボックス、プログラムコード、ファイル名、パス名等のテキスト文字列は、Courier フォントで表記します。
論理型のデータから算術型のデータへの変換は <b>できません</b> 。	注意すべき箇所、または新出の用語は <b>太字</b> 、あるいは「」で囲んで表記されます。
OSEK グループ ( <a href="http://www.osek-vdx.org/">http://www.osek-vdx.org/</a> を参照してください) はさまざまな標準規格を策定しています。	インターネットへのリンクは、 <b>アンダーラインの付いた青い文字</b> で表記されています。

特に重要な注意事項は、以下のように表記されています。

#### 注記

##### ユーザー向けの重要な注意事項

また PDF 文書において、索引、および他の部分を参照する箇所（例：「xx を参照してください」の中の「xx」の部分）については、その参照先へのリンクが設けられているので、必要な参照箇所を素早く見つけることができます。



## 2 プログラムのインストール

---

この章は、PC またはネットワーク上に ASCET をインストールし、ASCET プログラムのメンテナンスやアンインストールを行うすべてのユーザー、および ASCET をファイルサーバに供給してネットワーク経由のインストールを行うシステム管理者を対象としています。ここでは、製品の内容、スタンドアロンインストールとネットワークインストールに必要なハードウェアやソフトウェアの条件、およびインストールに必要な準備について、重要な情報が記載されています。また、ASCET のインストールとアンインストールの手順も紹介しています。

### 2.1 準備

---

インストールを行う際は、まず製品の内容に不足がないこと、またお手持ちのコンピュータがシステム要件を満たしていることを確認してください。使用するオペレーティングシステムとネットワーク接続によっては、インストールを行うために必要なユーザー特権を持っていることを確認する必要があります。

#### 2.1.1 製品の内容

---

ASCET は、以下のアイテムで構成されます。

- ASCET インストールディスク
  - ASCET のインストールプログラム
  - ASCET マニュアルおよび ETAS ハードウェアのドキュメント（PDF ファイル、開くためには Acrobat Reader が必要です）
  - エンドユーザー向け FLEXnet ライセンスユーザーズガイド（PDF ファイル）

また、ASCET を使用するには、ライセンス契約に基づいて発行されたライセンスファイルが必要です。このファイルは、システム管理者の方から、または ETAS ホームページのライセンスポータルサイト（URL は製品ご購入時のエンタイトルメントレターに記載されています）から入手できます。ライセンスファイルのお申し込み時には、受注プロセスにおいて ETAS から発行された「アクティベーション番号」が必要です。詳しくは第 3 章「ソフトウェアのライセンス管理」（35 ページ）を参照してください。

### 2.1.2 システム要件

ASCET を使用する PC は、以下の条件が満たされている必要があります。

	最小条件	推奨条件
オペレーティングシステム	<ul style="list-style-type: none"> <li>Windows® 7 (x86 または x64)</li> <li>Windows® Vista (x86) + SP1</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Windows® 7 (x64)</li> </ul>
ハードウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>1.5 GHz Pentium PC</li> <li>1 GB RAM</li> <li>DVD ROM ドライブ</li> <li>ネットワークアダプタ</li> <li>グラフィック：1024×768 以上の解像度、32 MB の RAM、16 ビットカラー、DirectX 7</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2 GHz デュアルコア (またはその相当品)</li> <li>4 GB RAM</li> <li>DVD ROM ドライブ</li> <li>ネットワークアダプタ</li> <li>第 2 のネットワークアダプタ (ASCET-RP 使用時)</li> <li>グラフィック：1600×1200 の解像度、128 MB の RAM、32 ビットカラー、DirectX 7 以上、ハードウェアアクセラレータ</li> </ul>
ディスクの空き容量	<ul style="list-style-type: none"> <li>3 GB (プログラムデータ分を含まず)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4 GB 以上 (プログラムデータ分を含まず)</li> </ul>

### 2.1.3 インストールと運用に必要なユーザー特権

#### インストールに必要なユーザー特権：

ASCET を PC にインストールするには、管理者のユーザー特権が必要です。ない場合は、システム管理者の方にお問い合わせください。

#### 運用に必要なユーザー特権：

ASCET を使用するユーザーは、管理者から “スケジューリング優先順位の繰り上げ” という特権を受ける必要があります。この特権は、ユーザーマネージャーを使用して設定します。

#### 注記

下記の設定を行うには管理者権限が必要です。

**推奨：**一般的には、以下のようにして “スケジューリング優先順位の繰り上げ” 特権をローカルの “Users” グループに設定してください。

#### ユーザー特権 “スケジューリング優先順位の繰り上げ” を割り当てる：

- Windows Vista の場合：
  - Windows の スタートメニューから、コントロールパネル → システムとメンテナンス → 管理ツール → ローカルセキュリティポリシー を選択します。
- Windows 7 の場合：
  - Windows の スタートメニューから、コントロールパネル → 管理ツール → ローカルセキュリティポリシー を選択します。

- ローカルポリシー → ユーザー権利の割り当て に含まれる “ スケジューリング優先順位の繰り上げ ” をダブルクリックします。  
“ スケジューリング優先順位の繰り上げ ” ダイアログボックスが開きます。
- ユーザーまたはグループの追加 ボタンをクリックします。  
“ ユーザー、コンピュータまたはグループの選択 ” ダイアログボックスが開きます。
- 場所 ボタンをクリックします。  
“ 場所 ” ダイアログボックスが開きます。
- ローカルコンピュータを選択し、**OK** をクリックして “ 場所 ” ダイアログボックスを閉じます。  
“ ユーザー、コンピュータまたはグループの選択 ” ダイアログボックスの名前が “ ユーザーまたはグループの選択 ” に変わります。
- “ ユーザーまたはグループの選択 ” ダイアログボックスで、**詳細設定** ボタンをクリックして、自動検索機能を有効にします。  
“ ユーザーまたはグループの選択 ” ダイアログボックスが開きます。
- **今すぐ検索** ボタンをクリックして、ローカルコンピュータに登録されているユーザーのリストを表示します。
- “ 名前 (RDN) ” のカラムから、スケジューリング優先度の繰り上げの権利を割り当てたいユーザーまたはグループを選択します。
- **OK** ボタンをクリックして確定します。
- **OK** ボタンで “ ユーザーまたはグループの選択 ” ダイアログボックスを閉じます。
- **OK** ボタンで “ スケジューリング優先順位の繰り上げ ” ダイアログボックスを閉じます。
- ローカルセキュリティ設定を終了します。

## 2.2 ディスクからのインストール

いずれかのアドオン製品（ASCET-MD、ASCET-RP、ASCET-SE、ASCET-SCM）をインストールする際は、まず最初に ASCET の基本システムをインストールする必要があります。また ASCET-SCM をインストールするには、先に ASCET-MD、ASCET-RP、ASCET-SE のいずれかをインストールする必要があります。

インストールの方法は、DVD から行う場合もネットワークドライブから行う場合も同様です。インストール実行中にログファイルが作成され、インストールの履歴が書き込まれます。詳細は ASCET オンラインヘルプを参照してください。

2.2.1 項で基本システムのインストール方法を詳しく説明します。アドオン製品のインストール方法は 2.2.2 項に簡単に説明されていますが、より詳しい情報が必要な場合は、各アドオン製品のマニュアルやリリースノートをご覧ください。

2.2.3 項には、特殊なインストール条件（「インストールを中止する：」、「既存のプログラムバージョンに上書きしてインストールする：」など）について説明されています。またコマンドラインからインストールを実行する場合は 2.2.4 項の情報を参照してください。

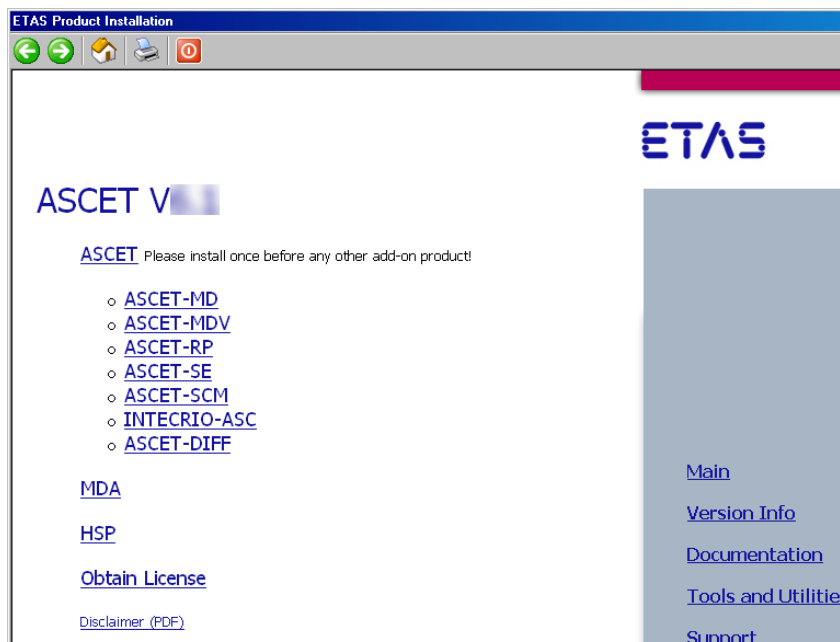
## 2.2.1 ASCET 基本システムのインストール

### 注記

ASCET は所定のオペレーティングシステム（2.1.2 項の表を参照してください）にしかインストールできません。サポートされていないオペレーティングシステムにインストールしようとする、エラーメッセージが表示され、インストール処理は中止されます。

### ASCET のインストールを開始する：

- インストールディスクを PC のディスクドライブに挿入します。
- インストールプログラムが自動的に起動しない場合は `start.exe` をダブルクリックします。  
インストールダイアログボックスが開きます。
- [Main](#) というリンクをクリックします。



- [ASCET](#) というリンクをクリックします。

### 注記

ASCET-MD やその他の ASCET 製品（ASCET-DIFF 以外）をインストールするには、あらかじめ ASCET 基本システムをインストールしておく必要があります。

ASCET 基本システムのインストール処理が開始されます。

### ライセンス契約の内容を確認する：

- “EULA” というタイトルのダイアログボックスが開き、ライセンス契約の内容が表示されるので、内容に同意いただける場合は、**Accept** オプションをクリックしてオンにしてください。

- **OK** をクリックして確定します。
- 画面に表示される指示に従って先に進みます。  
ダイアログボックス内に設定した内容を確認するには、**Next** ボタンをクリックして次のダイアログボックスに進みます。**Back** ボタンをクリックすると前のダイアログボックスに戻り、また **Cancel** をクリックするとインストールが中止されます。

#### ASCET を登録する：

- 以下のダイアログボックスに、ユーザーの個人情報を入力します。

**ASCET Base installation**

**Registration information**

Please enter user information in the fields below:

First name:  Last name:

Company:  Department:

Phone:

E-mail:

Street:

ZIP code:  City:

Country:

< Back    Next >    Cancel

- **Next** ボタンをクリックします。

ASCET の登録が終わると、インストール先のターゲットディレクトリを指定するように要求されます。

#### ASCET のパスを指定する：

**ASCET Base installation**

**Select destination directories**

Please select a directory for the ASCET files:

c:\ETAS\ASCET

Current free disk space: 1633976 k  
Free disk space after install: 1343602 k

Please select a directory for the ASCET data files:

c:\ETASData\ASCET

Current free disk space: 1633976 k  
Free disk space after install: 1343602 k

< Back    Next >    Cancel

プログラムファイルとプログラムデータは別のディレクトリに格納されます。後でプログラムをアンインストールしたり更新すると、プログラムファイルだけが削除または上書きされます。プログラムデータはそのまま残り、継続して使用可能です。プログラムデータには以下のデータが含まれます。

- データベース
- ユーザープロファイル

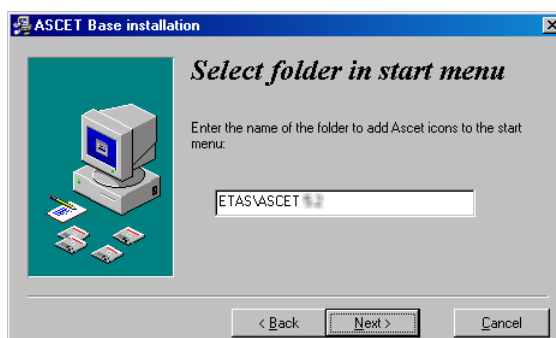
### 注記

ASCET のインストールディレクトリのパスには、スペース文字を含めることができます。ただしその際は、ASCET と共に使用する外部ツールも空白文字を含むパス名をサポートしている必要がありますので、確認してからインストールを行ってください。

ASCET を Windows 7 で使用する場合、ASCET は実行中にインストールディレクトリにファイルを書き込むため、ユーザーの書き込みアクセスが可能な場所にインストールするようにしてください。たとえば、Program Files 以外の場所をお勧めします。

- デフォルトのディレクトリを変更したい場合には、**Browse** ボタンをクリックします。
- パス選択ダイアログボックスで、希望のディレクトリを選択します。  
存在しないディレクトリを指定すると、インストールルーチンがそのディレクトリを自動的に作成します。
- **Next** ボタンをクリックします。

### スタートメニューに表示される ASCET フォルダ名を指定する：



- デフォルトのフォルダ名を有効にします。  
または
- 別のフォルダ名を指定します。
- **Next** ボタンをクリックします。  
“Ready to install” ダイアログボックスが開き、ログファイルと一時ファイルの保存先が表示されます。これらのパスは変更できません。

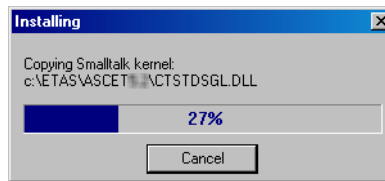
### ASCET をインストールする：

#### 注記

次のステップで、実際のインストール処理が開始されます。

- “Ready to Install” ダイアログボックスで **Next** をクリックして、インストールを開始します。

プログラムファイルがコピーされます。コピーの進捗状況は、棒グラフによって表されます。



必要に応じて ETAS ライセンスマネージャがインストールされます。

最後に "Installation complete" というダイアログボックスが開きます。

- **Finish** をクリックします。  
インストールが完了します。

インストールが完了すると、指定した名前の ASCET フォルダが Windows の **スタート** メニューに表示され、その中に以下のアイテムが表示されます。

- **ASCET Help**  
ASCET オンラインヘルプを開きます。
- **ASCET Uninstall**  
アンインストールルーチンを起動します (2.5 項を参照してください)。
- **ASCET V6.2**  
ASCET プログラムを起動します。
- **AS Editor**  
AS エディタを起動します (詳しくは ASCET オンラインヘルプをご参照ください)。
- **Online manuals**  
オンラインマニュアルがインストールされている場合は、ここからマニュアルディレクトリ ETAS\ETASManuals を開くことができます。各マニュアルはこのディレクトリ下のサブディレクトリに保存されています。
- **ReadMe**  
ASCET V6.2 についての最新情報が収められているファイルを開きます。

ETAS ライセンスマネージャについては、Windows スタートメニューの **ETAS** フォルダ内に **License Management** という独立したフォルダが作成されます。このフォルダには **ETAS License Manager** というエントリのみが含まれます。

ASCET のインストールディレクトリの下での export ディレクトリ内にはいくつかのサンプルファイル (\*.exp または \*.axl) がコピーされていて、これらのファイルを ASCET のデータベース (両フォーマット) またはワークスペース (\*.axl のみ) にインポートすることができます。

- ETAS\_System\_Library.\* と ETAS\_System\_CT\_Library.\* – PT1 エlementなどの基本モデリングブロックやその他の基本フィルタエlement、積分器などが含まれる ETAS システムライブラリです。
- ETAS\_MBFS\_Library.\* – ASAM AE MBFS 規格<sup>1</sup> で定義されたブロックのサブセットが含まれる ETAS システムライブラリです。
- Tutorial.\* – ETAS チュートリアル

<sup>1</sup> <http://www.asam.net> を参照してください。

- Tutorial AUTOSAR UG.\* - AUTOSAR チュートリアル

#### 注記

ASCET を起動するには、ASCET-MD、ASCET-RP、ASCET-SE のいずれかをインストールする必要があります。

### 2.2.2 ASCET-MD およびその他の ASCET 製品のインストール

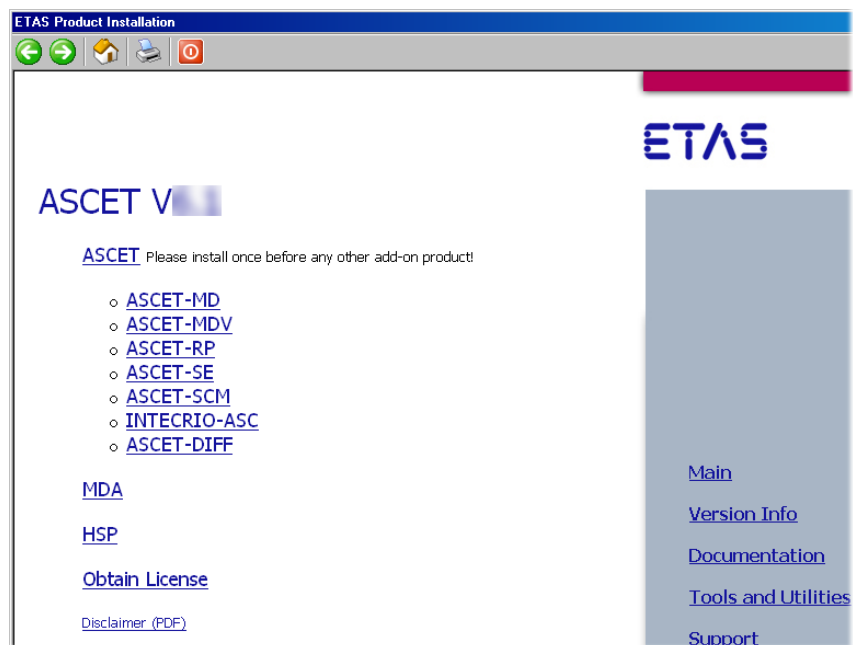
基本システムをインストールした後は、ASCET-MD やその他のアドオン製品をインストールすることができます。

#### 注記

ASCET アドオンは、すでに PC にインストールされている ASCET のバージョンに対応するものしかインストールできません。対応しないバージョンのアドオンをインストールしようとすると、エラーメッセージが表示され、インストール処理は中止されます。

#### ASCET アドオン製品をインストールする：

- 再度インタレーションダイアログボックスを開き、[Main](#) リンクをクリックします。



- [ASCET-MD](#) (またはその他の ASCET 製品) のリンクをクリックします。

#### 注記

ASCET-MD やその他の ASCET 製品 (ASCET-DIFF 以外) をインストールするには、あらかじめ ASCET 基本システムをインストールしておく必要があります。また、ASCET-SCM を使用するには、あらかじめ ASCET-MD、ASCET-RP、ASCET-SE のいずれかがインストールされている必要があります。



- 画面の指示に従ってインストールを行います。  
選択された製品がインストールされます。

ASCET-RP をインストールすると、Windows スタートメニューの ETAS のプログラムグループに **ETAS Network settings** というエントリが追加されます。このエントリから、ETAS ネットワーク設定のためのプログラムが起動します。

### 2.2.3 特殊な条件でのインストール

---

#### インストールの中止

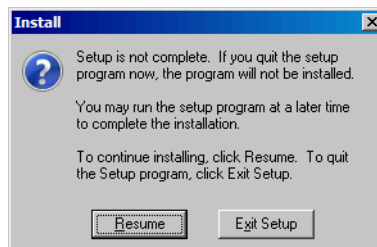
---

インストールの途中でインストールを中止するには、以下のように操作してください。

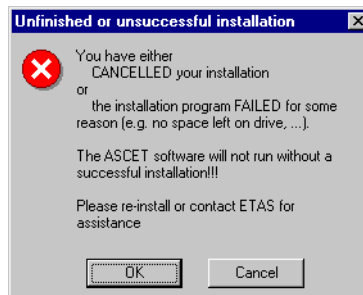
#### インストールを中止する：

---

- 操作中のダイアログボックスで、**Cancel** ボタンをクリックします。



- 元のダイアログに戻るには、**Resume** をクリックします。
- セットアッププログラムを終了してインストールを中止するには、**Exit Setup** ボタンをクリックします。

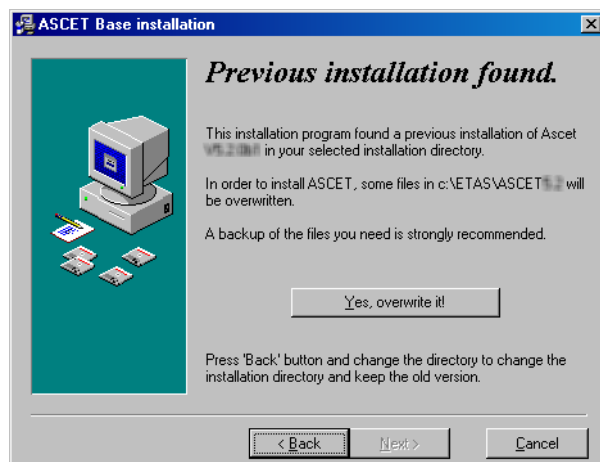


- **OK** をクリックすると、インストールが中止されません。

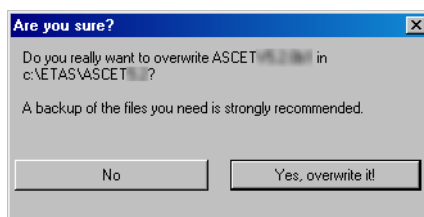
### 旧バージョンに「上書きインストール」を行う

インストールしようとするソフトウェアの旧バージョンがすでにインストールされている場合、または指定されたディレクトリに別のソフトウェアがすでにインストールされている場合、その旨を通知するメッセージが表示されます。たとえば旧バージョンの ASCET がインストールされている PC に新しい ASCET をインストールしようすると、以下の例のようなメッセージが表示されます。その場合は以下のように操作してください。

### 既存のプログラムバージョンに上書きしてインストールする：



- 表示されたメッセージをよく読んでください。  
この例では、指定のディレクトリに旧バージョンがすでにインストールされていることが示されています。以降の処理を続行すると、これらのファイルは上書きされます。
- 他のディレクトリにインストールするには、**Back** ボタンをクリックします。
- 既存のファイルに上書きしてよければ、**Yes, overwrite it** ボタンをクリックします。

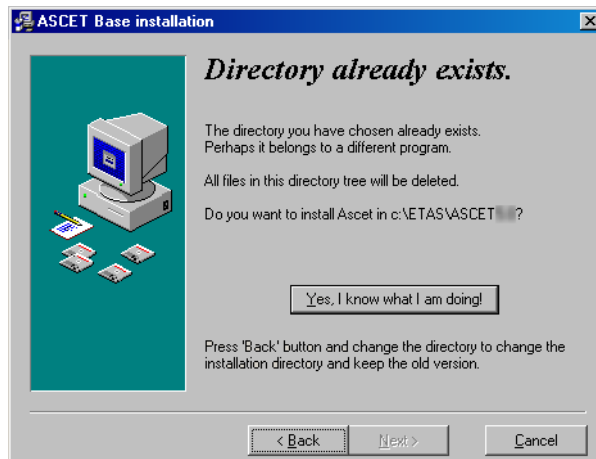


- 上記の確認メッセージが表示されるので、**Yes, overwrite it!** をクリックして確定します。  
上書きせずに元のダイアログボックスに戻るには **No** をクリックします。

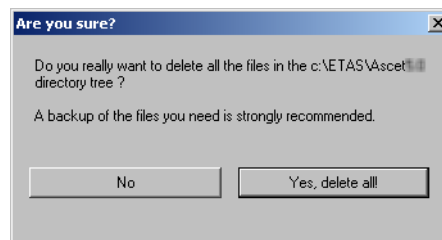
### 既存のディレクトリに「上書きインストール」を行う

指定されたディレクトリがすでに存在していて、そこに ASCET が完全にインストールされていない場合、その旨を通知するメッセージが表示されます。このような状況は、前回のインストール処理が途中でキャンセルされた場合などに発生します。その場合は以下のように操作してください。

### 既存のディレクトリに上書きする：



- 表示されたメッセージをよく読んでください。  
この例では、指定されたディレクトリがすでに存在していることを示しています。
- 他のディレクトリにインストールするには、**Back** ボタンをクリックします。
- 既存のディレクトリに上書きしてよければ、**Yes, delete it** ボタンをクリックします。



- 確認メッセージが表示されるので、**Yes, delete all!** をクリックして確定します。  
ASCET がインストールされて、既存のファイルはすべて削除されます。  
上書きを行わずに前のダイアログボックスに戻るには **No** をクリックします。

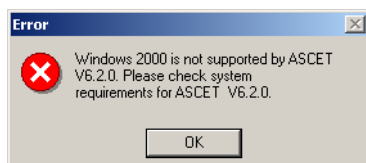
### サポートされていないOS へのインストール

---

サポートされていない OS に ASCET をインストールしようとすると、エラーメッセージが表示されてインストールが中止されます。

#### サポートされていない OS にインストールしようとした場合：

---



- メッセージを確認して **OK** をクリックします。インストール処理が中止されます。
- 所定の OS を PC にインストールした後、再度 ASCET のインストールを行ってください。

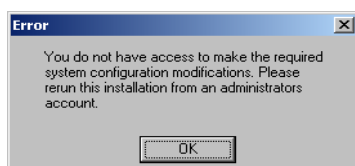
### 管理者権限がない場合

---

ASCET のインストールを行うには管理者権限が必要です。Windows にログオンした時のユーザー名に管理者権限が与えられていない場合、以下のメッセージボックスが開きます。

#### 管理者権限のないユーザーがインストールを実行しようとした場合：

---



- メッセージを確認して **OK** をクリックします。インストール処理が中止されます。
- システム管理者の方に問い合わせてください。
- 必要な権限を取得した後、再度インストールを行ってください。

## 2.2.4 コマンドラインからのインストール

インストールをコマンドラインから実行する場合は、引数を使用してインストール処理をカスタマイズすることができます。

`/?` または `/h`

ダイアログボックスが開き、有効なコマンドライン引数が表示されます。

`/silent` または `/s`

### 注記

`/silent` は、コマンドラインの最初の引数として使用してください。他の引数が先に指定されると、`/silent` は無効となります。

「サイレントモード」でインストールを行います。このモードにおいてはユーザーの介入を必要とするダイアログボックスが開きません。通常のインストールにおいてダイアログボックスで入力される情報の代わりに、デフォルト値、または `install.ini` から読み込まれた値が使用されます。エラーメッセージも表示されません。

サイレントインストールの処理は、バックグラウンドプロセスによって実行されます。インストール中は Windows のシステムトレイにアイコンが表示されますが、ユーザーがこのプロセスに介入することはできません。

インストールディレクトリ内の `silent.log` というファイルにインストールログが記録されます。このファイルは `*.ini` と同じ形式で、サイレントモードでインストールされた各 ASCET 製品ごとにセクションが作成されます。インストール実行中は、その製品のセクションに以下の行が記録されます。

```
install=in progress
```

インストールが正常に終了すると、その行は以下のように書き変わります。

```
install=successfully finished
```

インストール後に PC の再起動が必要な場合は、`install.ini` 内に所定のエントリ<sup>1</sup> で指定されていない限り自動的に再起動が行われます。以下の行が所定のセクションに追加されます。

```
need reboot=yes
```

### `/basic`

「ベーシックモード」でのインストールを行います。このモードにおいては、ライセンス契約についての情報が表示される「EULA」というタイトルのダイアログボックスを除き、ユーザーの介入を必要とするダイアログボックスが開きません。サイレントモードと同様のインストールが行われますが、ベーシックモードにおいては進捗バーとエラーメッセージが表示され、ログファイルは生成されません。

### 注記

ASCET 製品の中には、`install.ini` 内に環境変数を定義できたりサイレント/ベーシックモードを制御するための設定を定義しておく必要があるものがあります。詳しくは各製品のドキュメントを参照してください。

<sup>1</sup>. [SilentInstallation]  
;prevents a silent installation from rebooting when  
;set to "Suppress"  
Restart=Suppres

```
/ini="<MyPath>\<IniFileName>.ini"
```

デフォルト状態において、インストール時にはインストールディレクトリに保存されている install.ini ファイルが使用されます。しかし、1つのネットワークドライブから複数のユーザーが ASCET 製品をインストールするには、使用環境に応じて異なる \*.ini ファイルが必要となる場合があります。そのような場合は、以下のようにしてファイルのパスを指定します。

インストールディレクトリ外にある \*.ini ファイルを使用する場合：  
/ini="<MyPath>¥<IniFileName>.ini"

インストールディレクトリ内にある \*.ini ファイルを使用する場合：  
/ini="¥<IniFileName>.ini"

## 2.3 ネットワーク経由のインストール

---

DVD からだけでなく、PC 上のネットワークドライブからも ASCET をインストールできます。

ネットワークインストールには、PC に実際にインストールする前にあらかじめインストールオプションを設定しておくことができるという利点があります (2.3.2 項を参照)。

### 2.3.1 ネットワークドライブからの ASCET 製品のインストール

---

ネットワークドライブからインストールを行う場合も、ディスクから行う場合と同じダイアログボックスが開きます (11 ページの「ディスクからのインストール」を参照)。

ネットワークドライブからのインストールを行うには、まず以下のように、インストールに必要なファイルをインストールディスクからネットワークドライブ上にコピーしておく必要があります。

#### ファイルをネットワークサーバーにコピーする：

---

- 任意のネットワークドライブ上にソースディレクトリを作成します。
- インストールディスクの全データをソースディレクトリにコピーします。
- 必要に応じてインストールオプションをカスタマイズします (2.3.2 項を参照)

#### ASCET のインストールを開始する：

---

- ネットワークドライブ上にあるファイル (例：ASCET.exe、ASCET-MD.exe) をダブルクリックします。
- インタレーションダイアログボックスの指示に従ってインストールを行います。

### 2.3.2 ネットワークインストールのカスタマイズ

---

ユーザーが自分のワークステーションに ASCET をインストールする前に、ASCET のデフォルトのインストールオプションをカスタマイズしておくことができます。

ネットワークインストールの場合、以下のことが可能となります。

- ディレクトリなどのデフォルト設定を変更しておくことにより、インストールダイアログをカスタマイズできます (23 ページ「インストールダイアログのカスタマイズ」参照)。

- 1つのインストールが終了した後、続けて最大10個まで他のソフトウェアのインストール処理を行うことができます（24ページの「インストールの連続実行」を参照してください）。
- ネットワークインストールログファイルの格納位置を指定できます（24ページの「インストール情報のロギング」を参照してください）。
- ASCETがライセンスにアクセスする方法を指定できます（25ページ「ライセンスの運用方法」参照）。
- ASCETのインストールを、ユーザーの介入なしにバックグラウンドで完全に自動実行できます（27ページ「自動インストール」参照）。
- カスタマイズしたファイルで製品のデータディレクトリ（デフォルト設定は [drive]:¥ETASdata¥ASCET6.2¥...）内のファイルを上書きしたり、既存のディレクトリにファイルが追加されるように指定できます（27ページ「ASCETファイルのカスタマイズ」参照）。

#### インストールダイアログのカスタマイズ

大規模な部署内で多くのユーザーがネットワークインストールを行うような場合、インストールに使用されるオプション情報のデフォルト設定をあらかじめカスタマイズしておいて、各PCに同じ条件でインストールが行われるようにする必要が生じる場合があります。このようなカスタマイズは、install.ini コンフィギュレーションファイルを使えば可能です。このファイルは、インストールディレクトリに格納されています。

以下の例に従って、デフォルト設定を変更してください。

#### コンフィギュレーションファイルのカスタマイズする：

- install.ini ファイルをテキストエディタで開きます。  
以下は、このINIファイルのデータの一例です。  
;Sets the main directory of ASCET  
;MainDir=c:¥etas¥ASCET6.2
- デフォルト設定を修正するには、MainDir キーワードの行の ";"（コメントを示す）を削除します。
- パスを、たとえば  
H:¥programs¥etas¥ASCET6.2 というように変更します。  
ファイルの内容は、以下のようになります。  
;Sets the main directory of ASCET  
MainDir=H:¥programs¥etas¥ASCET6.2
- install.ini の他の部分も、同じ方法で適宜変更します。
- 変更内容を保存してから、エディタを閉じます。

これで、ASCET.exe を実行してインストールを開始すると、ダイアログボックスには新しい設定がデフォルトオプションとして表示されるようになります。

#### 注記

パス設定の変更により、以下のようなカスタムインストールが可能です。

### インストールの連続実行

install.ini 内の AutoInstallXX というパラメータを使用して、インストールの終了後に 50 個以内の別のソフトウェアが連続してインストールされるようにすることができます。

#### 複数のソフトウェアを連続的にインストールする：

- テキストエディタで **install.ini** ファイルを開きません。  
インストールの連続実行を行うには、以下のパラメータを有効にします。

```
;AutoInstall01=..¥Installation2¥Install.EXE
;AutoInstall02=
```

- この機能を有効にするために、**AutoInstall01** パラメータの行の先頭の ";" (コメント行を意味します) を削除します。
- 連続して自動実行したいインストールプログラムファイルとそのパスを、たとえば  
..¥..¥HTMLInstall¥setup.exe というように設定します。

ここでは、必ず ASCET のインストールファイルとは異なるパスを相対パスで入力してください。"..¥" は、1 レベル上のディレクトリレベルを意味します。

```
AutoInstall01=..¥..¥HTMLInstall¥setup.exe
```

- さらに、必要に応じて自動実行するインストールプログラムを順に登録します (AutoInstall10 まで設定できます)。
- 変更した内容を保存します。

### インストール情報のロギング

ネットワークドライブからインストールを行うと、インストールの記録として、ユーザー登録ダイアログボックスで入力された情報がユーザー情報ファイル (ASCET [ \* ] .usr) に保存されます。この情報は、社内での管理用データとしてご使用いただけます。デフォルト状態においては、このファイルはインストール処理を開始したインストールドライブ上の User という名前の専用ディレクトリに格納されます (例、F:¥User¥ASCET.usr)。

この格納場所は、前述のように、install.ini の内容を変更することによって任意に指定することができ、またロギング機能自体を無効にすることもできます。

#### 注記

登録情報がこのファイルに書き込まれるようにするためには、すべてのユーザーにログディレクトリ、つまりインストールプログラムが格納されたディレクトリまたは install.ini で指定されたディレクトリ (以下を参照してください) への書き込みアクセス権があることを確認してください。

#### ユーザー登録情報を記録するディレクトリを指定する：

- テキストエディタで **install.ini** ファイルを開きません。
- [Network-Preferences] セクションを内の NetUserLogging パラメータを有効 (true) または無効 (false) に設定します。



```
NetUserLogging=true
```

または

```
NetUserLogging=false
```

- 登録情報を記録するファイルが格納されるディレクトリを変更するには、以下のパラメータを設定します。

```
;NetUserLogPath=i:¥User
```

- NetUserLogPath** パラメータを有効にするため、この行の先頭の ";" (コメント行を意味します) を削除します。

- パスを以下の例のように (**x:¥UserLog**) 変更します。

```
NetUserLogPath=x:¥UserLog
```

- 変更した内容を保存します。

インストールプログラムがローカルハードディスク上にある場合、デフォルト状態においてはインストールログは作成されません。ローカルインストールの履歴を保存したい場合は、上記の方法でコメント文字を削除し、パスを指定します。

#### ライセンスの運用方法

install.ini ファイルの [Licensing] セクションでは、ASCET および他の ETAS ソフトウェアプログラム使用時におけるライセンスへのアクセス方法を指定できます。

#### ライセンスへのアクセス方法を指定する：

- テキストエディタで **install.ini** ファイルを開きます。
- [Licensing] セクション内のパラメータを設定します。このセクション内で使用できるパラメータについての説明は以下に示されています。
- 設定を保存します。

ここで使用できるパラメータは以下のとおりです。

- LicensingFileName

追加するライセンスファイルの絶対パスを設定します。

- LicenseToBorrow

ライセンスサーバーからライセンスを借用できる場合、このパラメータを使用して借用メカニズムについて設定することができます。借用メカニズムを有効にするには、ここに製品または機能のライセンス名 (例：ASCET) を指定します。2 つ以上のライセンスを指定するには、各ライセンス名をスペースで区切って入力してください。

ASCET 製品ファミリが使用するライセンスは以下のとおりです。

ライセンス名	機能名
ASCET-MD	ASCET Modeling and Design (モデリングと設計)
ASCET-RP	ASCET Rapid Prototyping (ラピッドプロトタイピング)
ASCET-SE	ASCET Software Engineering (ソフトウェアエンジニアリング)
ASCET-DIFF	ASCET Difference Viewer (差分ビューア)
ASCET-SCM	ASCET Software Configuration Management (ソフトウェア構成管理)

- BorrowExpiryMode  
借用期限の定義方法を選択します。
  - Date  
借用期間は、BorrowExpiryDate で指定された日付に満了します。
  - Interval  
借用期間は、BorrowExpiryInterval で指定された日数を経過した時点で満了します。
- BorrowExpiryDate  
BorrowExpiryMode が Date に設定されている場合、このパラメータで借用期間の終了日を指定します。
- BorrowExpiryInterval  
BorrowExpiryMode が Interval に設定されている場合、このパラメータで借用日数を指定します。
- ExecuteBorrowAutomaticExtensionInterval  
借用期間を自動延長するタイミングを指定します。借用期間の残日数がこのパラメータで設定された日数になると、BorrowAutomaticExtensionInterval で指定された日数だけ自動的に期間が延長されます。
- BorrowAutomaticExtensionInterval  
借用期間を自動延長する日数を指定します。延長するタイミングは ExecuteBorrowAutomaticExtensionInterval で指定します。
- ImmediateBorrow  
ライセンスの自動借用について行われるようにするかどうかを指定します。
  - True  
インストール時に自動的にライセンスの借用が行われます。
  - False  
プログラムが初めてライセンスサーバーに接続した際にライセンスの借用が行われます。
- CustomLicenseFolder  
追加されるライセンスファイルのデフォルトの格納場所 (Windows XP の例 : C:\Documents and Settings\All Users\Application Data\ETAS\FlexNet) に管理者権限を持つユーザーしか書き込みできない場合、このパラメータで別のパスを指定することができます。

以下の例のように設定すると、ASCET においてライセンス借用が有効になります。ASCET の初回起動時にライセンスの借用が行われ、デフォルト状態においては 100 日後に借用期間が終了します。

```
[Licensing]
LicenseFileName = 'd:\licenses\MyLicense.lic'
LicensesToBorrow = 'ASCET-MD'
BorrowExpiryMode = 'Interval'
BorrowExpiryInterval = '100'
ImmediateBorrow = 'false'
```

### 自動インストール

ASCET.exe %s というコマンドを実行すると、ASCET のインストールがバックグラウンドで完全に自動実行されます。ユーザーの介入は一切必要なく、その時点で有効なデフォルト設定が自動的に選択されます。install.ini ファイル内の各デフォルト設定は任意に変更できます (23 ページの「インストールダイアログのカスタマイズ」を参照してください)。

システム管理者が “ASCET.exe %s” コマンドを含むバッチファイルを作成し、install.ini 内の必要な設定を行えば、ユーザーはこのバッチファイルを実行するだけで、一切の入力作業なしにインストール作業を実行できるようになります。

なおこのインストール方法においてはダイアログボックスはまったく表示されないため、インストールが完了した時点でユーザーに通知を行うメカニズムを用意しておくとい良いでしょう。

2.2.4 項「コマンドラインからのインストール」(21 ページ) も参照してください。

### ASCET ファイルのカスタマイズ

以下に説明するようなカスタマイズ機能を利用してインストールプログラムを調整し、インストール実行時にカスタマイズされたファイルをデフォルトファイルに上書きしたり、他のファイルをインストールセッションセットに含めたりすることができます。

この機能によって、カスタマイズされたデータベース、ユーザープロファイル、ウィンドウテンプレートなどをインストールプログラムに統合することが可能となります。

このためには、ソースディレクトリ下に InstData%... というサブディレクトリを作成し、正しいディレクトリ構造を維持しながらカスタムファイルをそこにコピーします。

カスタムファイルを作成するには、まず ASCET をテスト用 PC にインストールし、これを用いてファイルを作成します。

ASCET のデフォルトインストールを行うと、ETASData%ASCET6.2%... ディレクトリに以下のようなサブディレクトリが作成されます。そこには ASCET のデフォルト設定を定義するファイルがあり、それらをカスタマイズすることが可能です。

- Database%DB%  
DB サブディレクトリには、デフォルトのデータベースが格納されています。ここに、たとえば Database%DemoDB% といった別のデモ用データベースを作成できます。
- User%[user name] - Windows のログインユーザー名により異なる  
[user name] サブディレクトリには、デフォルトのユーザープロファイルが格納されます。設定可能なオプションはすべて、このサブディレクトリに保存されます。

### ネットワークインストール用のデータをカスタマイズする：

- ASCET を PC にインストールします。
- ASCET を起動します。
- ユーザープロファイルを修正します。
- データベースを修正するか、新しいデータベースを追加します。
- ASCET を終了します。

ここまででカスタマイズは終了したので、これらのファイルをインストールセッションプログラムに統合します。次の 2 通りの方法があります。

- 同じ名前の既存のファイルにカスタムファイルを上書きします。これを行うためには、InstData¥overwrite¥ というフォルダをソースディレクトリに作成しておく必要があります。
- カスタムファイルの名前を変更して、それらを既存のファイルに追加します。同じ名前のファイルは上書きされません。これを行うためには、InstData¥add-only¥ というフォルダをソースディレクトリに作成しておく必要があります。

カスタムファイルをインストールプログラムに含める場合、必ずその親ディレクトリもコピーしてください。ETASData¥ASCET6.2¥ ディレクトリのレベルは、InstData¥overwrite¥ や InstData¥add-only¥ と同じでなければなりません。

例：

```
InstData\overwrite\user\userdefaultSettings.xml
InstData\add-only\database\additionalDB\
```

#### 変更済みのユーザープロファイルを統合する：

- カスタマイズした ETASData¥ASCET6.2¥user¥ [user name] ¥userSettings.xml ファイルを InstData¥overwrite¥user¥ サブディレクトリにコピーします。
- userSettings.xml ファイルの名前を userdefaultSettings.xml に変更します。  
これで、インストール後は、新規のユーザー用としてこの初期化ファイルが使用されるようになります。

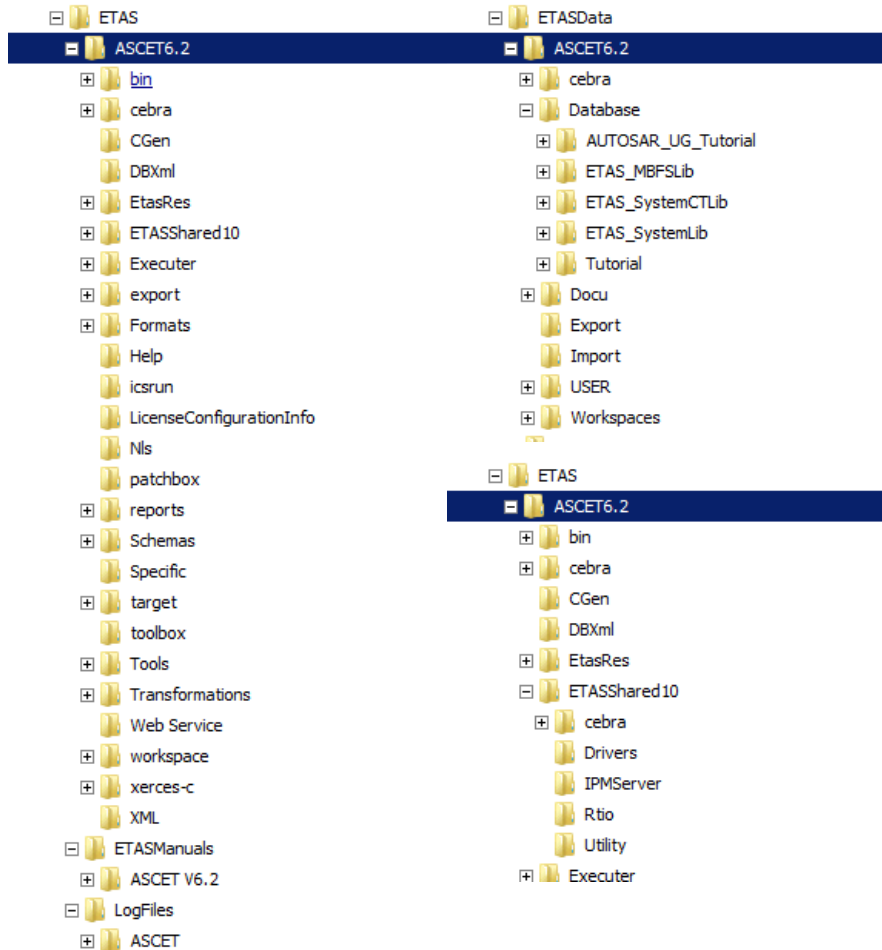
#### 変更を加えたデータベースを統合する：

- カスタマイズしたデータベース、つまり ¥database¥DB¥ サブディレクトリを InstData¥add-only¥... サブディレクトリにコピーします。
- DB ディレクトリの名前を任意に変更します。変更しないとデータベースはコピーされません。  
もちろん、InstData¥overwrite¥ ディレクトリを用いて DB データベースを上書きすることもできます。

上記のように設定した後にインストールルーチン (ASCET.exe) を起動すると、デフォルトファイルはカスタムファイルで上書きされ、対応するディレクトリに新しいファイルが追加されます。

## 2.4 ASCET ディレクトリ

ASCET をインストールすると、インストール先のディスクに以下のディレクトリ構造が生成されます（インストール時に別のパスを指定することもできます）。



### 2.4.1 デフォルトのデータディレクトリ

- データベース  
ETASData¥ASCET6.2¥Database
- ワークスペース  
ETASData¥ASCET6.2¥Workspace
- エクスポート  
ETASData¥ASCET6.2¥Export
- インポート  
ETASData¥ASCET6.2¥Export
- 生成されるコード  
ETAS¥ASCET6.2¥CGen
- 自動生成されるドキュメント  
ETASData¥ASCET6.2¥Docu（ドキュメント生成時に作成されます）

### 2.4.2 デフォルトディレクトリの変更

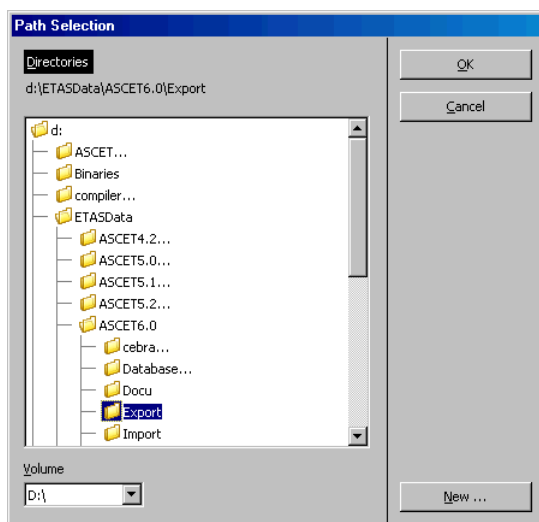
ASCET の “Options” ダイアログボックスで、データディレクトリのデフォルト設定を変更することができます。以下のように操作してください。

#### データディレクトリのデフォルト設定を変更する：

- ASCET のコンポーネントマネージャからメニューコマンド **Tools** → **Options** を選択します。  
“Options” ダイアログボックスが開きます。  
“Environment/Paths” ノードで各データパス（データベース、ワークスペース、インポート、エクスポート、ドキュメント）を設定し、“Build/Paths” ノードでコード生成パスを設定します。



- 変更したいパスの右側のボタンをクリックします。  
“Path selection” ダイアログボックスが開きます。



- デフォルトディレクトリとして使用したいディレクトリを指定します。
- OK** をクリックします。  
指定されたディレクトリが “Options” ダイアログボックスに表示されます。
- 変更したいすべてのオプションについて、以上の手順を繰り返します。
- 設定終了後、**OK** をクリックすると設定内容が確定され、**Cancel** をクリックすると取り消されます。

## 2.5 ASCET のアンインストール

ASCET をアンインストールすると、そのバージョンの ASCET 用にインストールされているアドオンもすべて自動的にアンインストールされます。ASCET-MD、ASCET-SE、ASCET-RP などを個別にアンインストールすることはできません。

ASCET のアンインストール処理は、以下のいずれかの方法で起動できます。

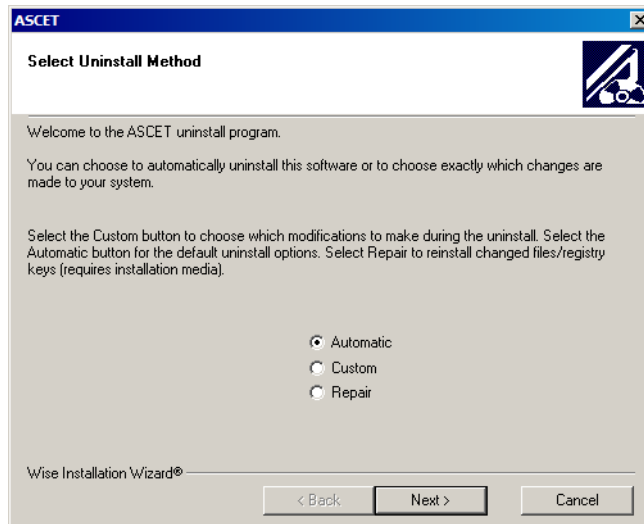
- Windows コントロールパネルから **プログラムの追加と削除** または **プログラムと機能** を選択します。

- Windows スタートメニューのプログラムグループ **ASCET6.2** から **Uninstall** を選択します。

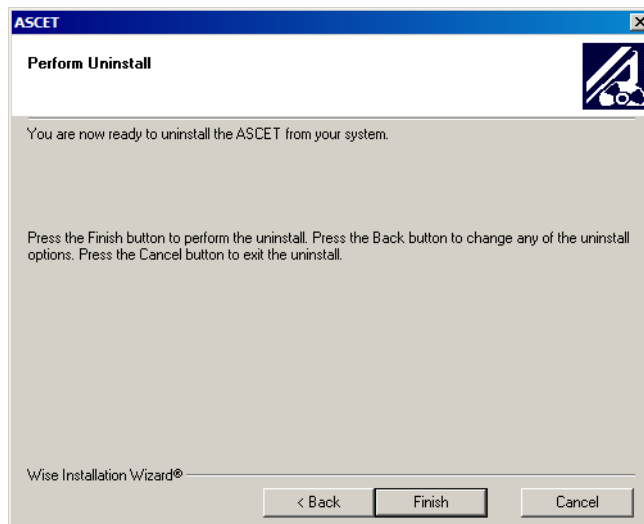
### 2.5.1 自動アンインストール

#### ASCET を自動モードでアンインストールする：

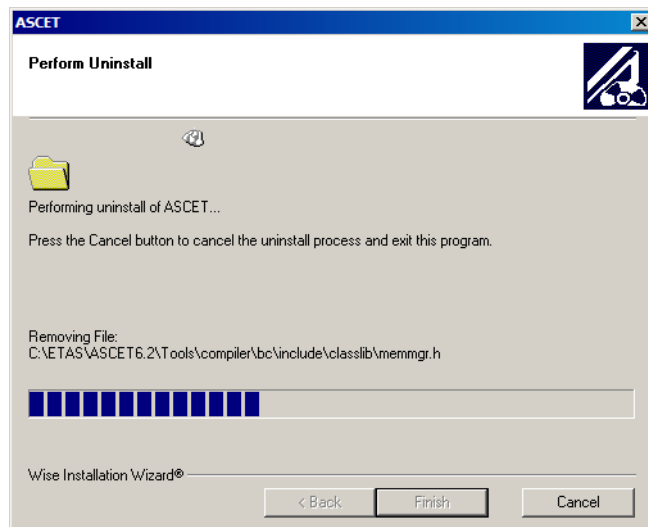
- ASCET のアンインストール処理を起動します。  
以下のダイアログボックスが開きます。



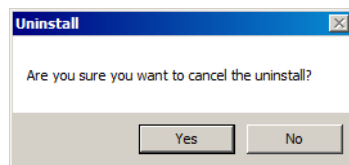
- Automatic を選択します。
- Next ボタンをクリックします。



- アンインストールを実行するには **Finish** ボタンをクリックします。



アンインストール実行中にアンインストール処理を中止することもできます。  
**Cancel** ボタンをクリックすると、以下のダイアログボックスが開きます。



#### 注記

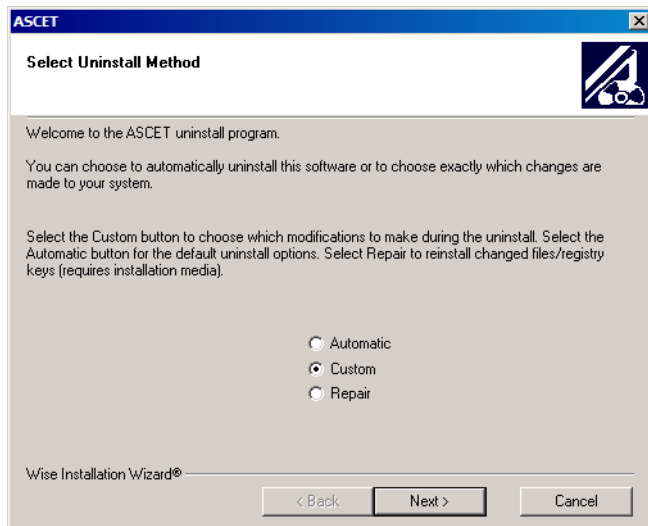
キャンセルした時点でデータがすでに消去されていた場合は、ASCET を再インストールする必要があります。



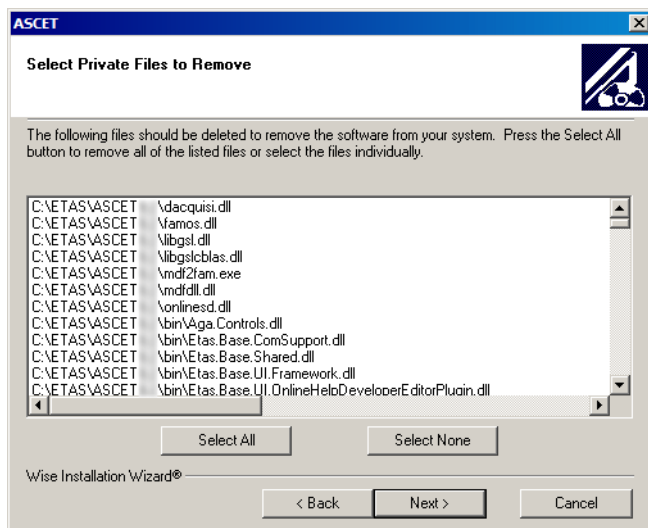
## 2.5.2 カスタムアンインストール

### ASCET を手動モードでアンインストールする：

- **ASCET** のアンインストール処理を起動します。  
以下のダイアログボックスが開きます。



- **Custom** を選択します。
- **Next** ボタンをクリックします。  
“Select Private Files to Remove” ダイアログボックスが開きます。



- “Select Private Files to Remove” ダイアログボックスで、削除したいファイルを選択します。
- **Next** ボタンをクリックします。
- “Select Directories to Remove” ダイアログボックスで、削除したいディレクトリを選択します。
- **Next** ボタンをクリックします。

- “Select INI Files to Remove” ダイアログボックスで、削除したい \*.ini ファイルを選択します。
- **Next** ボタンをクリックします。
- “Select INI Items to Edit” ダイアログボックスで、編集したい \*.ini ファイルを選択します。
- **Next** ボタンをクリックします。
- “Select Registry Keys to Remove” ダイアログボックスで、削除したいレジストリキーを選択します。
- **Next** ボタンをクリックします。
- “Select Registry Trees to Remove” ダイアログボックスで、削除したいレジストリフォルダを選択します。
- **Next** ボタンをクリックします。
- “Select Registry Keys to Edit” ダイアログボックスで、編集したいレジストリキーを選択します。
- **Next** ボタンをクリックします。
- “Select Sub-Systems to Remove” ダイアログボックスで、削除したいサブシステムを選択します。
- **Next** ボタンをクリックします。
- “Perform Uninstall” ダイアログボックスで、**Finish** ボタンをクリックします。  
アンインストールが実行されます。

カスタムアンインストール実行中でも、自動アンインストールの場合と同様に **Cancel** ボタンでアンインストールを中止することができます。

#### 注記

キャンセルした時点でデータがすでに消去されていた場合は、ASCET を再インストールする必要があります。

### 3 ソフトウェアのライセンス管理

---

ETAS のソフトウェア製品を使用するにはライセンスが必要です。本項ではライセンス管理について詳しく説明します。

- ETAS のライセンスモデル (35 ページ)
- ライセンスの取得 (35 ページ)
- ライセンスファイル (36 ページ)
- グレースモード (39 ページ)
- 「有効期限についての警告」ダイアログボックス (39 ページ)
- ライセンスの借用 (40 ページ)

各ライセンスの適用範囲やその他の条件については、ソフトウェア製品の使用条件に関するドキュメントをご参照ください。このドキュメントはソフトウェア製品に同梱されています。

#### 3.1 ETAS のライセンスモデル

---

ETAS ソフトウェアのライセンスには 3 種類のライセンスモデルがあります。

##### マシンネームライセンス (ローカル)

- 特定の PC を対象としたライセンスで、ライセンス管理は PC のユーザー自身が行います。
- ライセンスは特定の PC にリンクするので、その PC を使用すればいつでもライセンスを使用できます。
- PC を交換する際は新しいライセンスを発行する必要があります。

##### ユーザーネームライセンス (サーバーベース)

- 部門または会社を対象としたライセンスで、指定された管理者がサーバー上でライセンスを集中管理します。
- ライセンスはネットワークに登録されたユーザー名にリンクするので、ネットワーク内のどの PC からでもライセンスを使用できます。
- PC をネットワークから切断してオフラインで使用する際は、ライセンスを「借用」する必要があります。

##### コンカレント (または「フローティング」) ライセンス (サーバーベース)

ユーザーネームライセンスと同様のものですが、ここでは複数のユーザーが決められた数のライセンスを共有できます。

#### 3.2 ライセンスの取得

---

社内で ETAS ソフトウェアのサーバーベースライセンス管理を行っている場合、ライセンスの取得についてはサーバーの管理者の方にお問い合わせください。その他 (マシンネームライセンス) の場合は、ETAS ライセンスポータル (URL は製品に同梱されたドキュメントに記載されています) からライセンスを取得してください。

ライセンスポータルへのログイン方法には以下の3通りがあります。

- **アクティベーションID** でログインする  
ログインすると「アクティベーション」<sup>1</sup>が表示され、これを管理することができます。アクティベーションIDは製品に添付されたライセンスドキュメントに記載されています。
- **エンタイトルメントID** でログインする  
エンタイトルメント<sup>2</sup>に関連付けられたすべてのアクティベーションが表示され、これらを管理することができます。この方法は、部署や会社単位で1つのエンタイトルメントを使用するような場合に便利です。
- **Eメールアドレスとパスワード** でログインする  
ユーザーアカウントに割り当てられたすべてのアクティベーションとエンタイトルメントが表示され、それらを管理することができます。この方法は、ツール管理者の方が複数のエンタイトルメントを管理するような場合に便利です。

ライセンスポータルの使用方法がわからない場合は [ヘルプ](#) というリンクをクリックしてヘルプドキュメントを開いてください。

#### 必要な情報

ライセンスをアクティベート (= 有効化) するには、使用するPCについての以下の情報が必要です。

- **マシンネームライセンス**  
ライセンスを結び付けるイーサネットアダプタのMACアドレス
- **ユーザーネームライセンス**  
サーバーホストまたはサーバートライアド、およびユーザー名
- **コンカレント (フローティング) ライセンス**  
サーバーホストまたはサーバートライアド

#### 注記

PCハードウェアやユーザーの変更に伴い上記の情報が変更された場合は、ライセンスを「リホスト」する必要があります。この方法はライセンスポータルのヘルプドキュメントに記載されています。

### 3.3 ライセンスファイル

ライセンスポータルでライセンスが発行されると `<name>.Lic` というライセンスファイルが生成されるので、このファイルをETASライセンスマネージャでPCに登録します。

---

1. 「アクティベーション」には、特定の製品とそのライセンス条件、ライセンス数など、ライセンス発行に必要な情報が割り当てられています。各アクティベーションは、「アクティベーションID」によって識別されます。

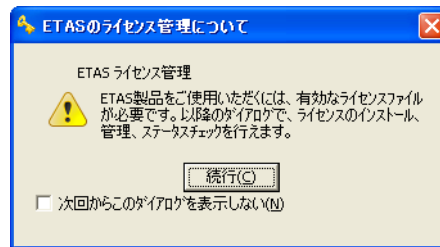
2. 「エンタイトルメント」は、ある製品について1つまたは複数のライセンスを保持するためのユーザー権限を表すものです。つまりエンタイトルメントはソフトウェアを使用する権利の「口座」のようなもので、ここから必要に応じてライセンスを取り出すことができます。

**ライセンスのインストール状態を調べる：**

- Windows スタート メニューから **ETAS → License Management → ETAS License Manager** を選択します。

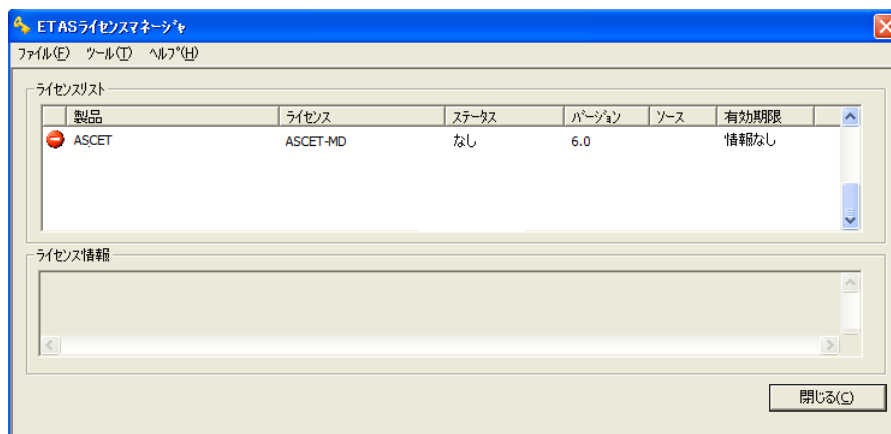
または

- ASCET のコンポーネントマネージャから **Help → License Info** を選択します。



- 続行** をクリックします。

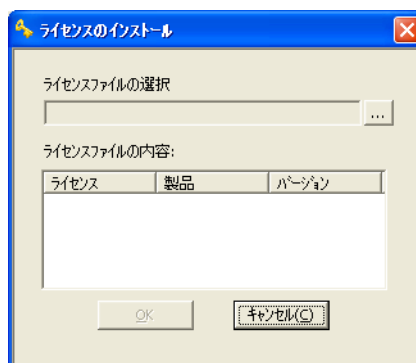
ETAS ライセンスマネージャが開き、インストールされている ASCET 製品のライセンス情報が表示されます。各エントリ行の先頭の列のシンボルと " ステータス " 列に表示されるテキスト情報で、有効なライセンスがインストールされているかどうかわかります。



**ライセンスを追加する：**

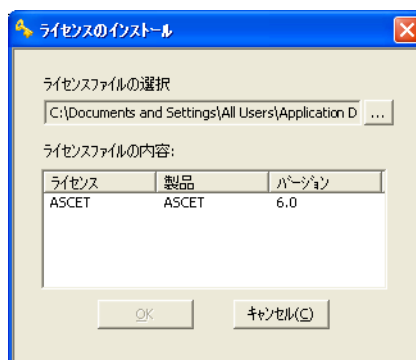
- ETAS ライセンスマネージャを開いて（37 ページ参照）、**ファイル** メニューから **ライセンスファイルの追加** を選択します。

“ライセンスのインストール” ダイアログボックスが開きます。



- “ライセンスファイルの選択” フィールドの右側にある ... ボタンをクリックします。
- ファイル選択ダイアログボックスで、ライセンスファイルを選択して **開く** をクリックします。

“ライセンスのインストール” ダイアログボックスに、選択されたライセンスファイルの情報が表示されます。

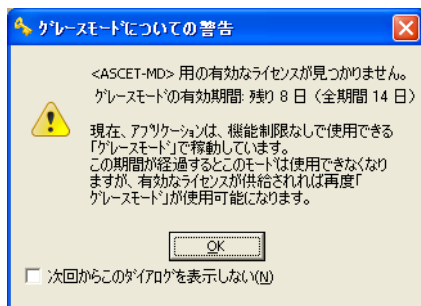
**注記**

上記ダイアログボックスの“バージョン”列に表示される番号は、ライセンスのバージョン番号で、ソフトウェアのバージョン番号とは異なります。

- OK** をクリックしてライセンスファイルをインストールします。  
上記の操作で選択されたライセンスの情報が、ETAS ライセンスマネージャに反映されます。エントリの先頭部分には、ライセンスが有効であることを示す緑のチェックマークシンボルが表示されます。
- 閉じる** をクリックして ETAS ライセンスマネージャを閉じます。

### 3.4 グレースモード

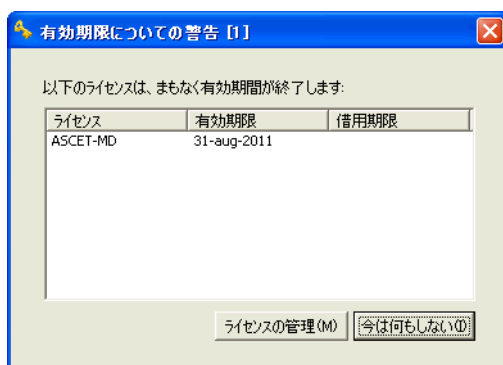
ライセンスをインストールしていなくても、一定の期間のみ「グレースモード」でソフトウェアを使用することができます。その期間はソフトウェア起動時に以下のウィンドウが開き、グレースモードで使用できる残日数が表示されます。



### 3.5 「有効期限についての警告」ダイアログボックス

インストールされているライセンスの有効期限が 30 日以内になると、ETAS ソフトウェアを開く際に警告メッセージが表示されます。

「有効期限についての警告」ダイアログボックスには、30 日以内に有効期限が切れるライセンスの一覧が表示されます。各ライセンスごとに期日が表示され、借用ライセンス（40 ページ「ライセンスの借用」参照）の場合は借用期限（借用モードが終了する期日）も表示されます。



ここで有効なライセンスファイルをインストールするには、[ライセンスの管理](#) ボタンをクリックして ETAS ライセンスマネージャを開いて所定の操作（38 ページ「ライセンスを追加する：」参照）を行ってください。有効なライセンスがインストールされた後は、そのまま継続して ETAS ソフトウェアを使用できます。

ライセンスファイルをインストールせずに ETAS ソフトウェアを使用するには、[今は何もしない](#) をクリックします。この操作は、グレースモード期間内でのみ可能です。グレースモードの期間が終了すると、有効なライセンスファイルをインストールするまで ETAS ソフトウェアは使用できなくなります。

ライセンスの有効期限が切れた場合は、さらに 14 日間継続して制限付きで ETAS ソフトウェアを使用することが可能ですが（39 ページ「グレースモード」参照）、この期間が過ぎると、新しいライセンスまたは更新されたライセンスをインストールするまで ETAS ソフトウェアは使用できなくなります。

### 3.6 ライセンスの借用

サーバーライセンスを使用している場合、ライセンスの「ボロー」メカニズムを利用することにより、オフライン（ライセンスサーバーに接続しない状態）でETASソフトウェアを使用することができます。

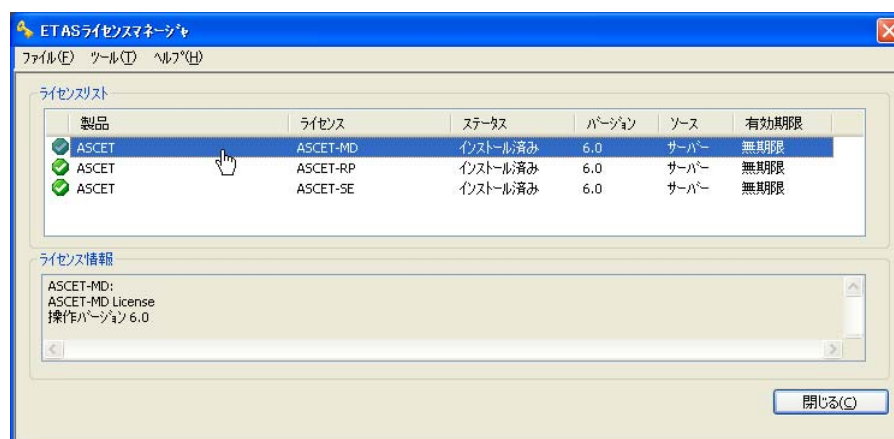
#### 注記

ライセンスの借用ができるのはサーバーベースライセンスの場合のみです。

ライセンスの借用は以下のように行います。

#### ライセンスを借用する：

- ライセンスを借用したい ETAS ソフトウェアが、現在起動されていないことを確認します。
- ETAS ライセンスマネージャ ウィンドウの “ ライセンスリスト ” フィールドから、借用したいライセンスを選択します。



- ライセンス メニューから **ライセンスの借用** を選択します。  
“ 借用期限の設定 ” ダイアログボックスが開きます。
- カレンダーで、ライセンスを借用する期限を指定します。





- **OK** をクリックします。

ETAS ライセンスマネージャ ウィンドウの “ソース” 列の表示が “サーバー” から “借用” に変わり、借用期限の日付が表示されます。



これで、ETAS ソフトウェアを借用期限までオフラインで使用できるようになりました。

指定した借用期限を超えて ETAS ソフトウェアを使用する必要がある場合は、再度ライセンスを借用してください。指定した借用期限前に ETAS ソフトウェアの使用を終了する場合は、ライセンスを期限前に返却（**ライセンス → ライセンスを期限前に返却**）することができます。ライセンスの返却は、それを借用したユーザーしか行えません。他のユーザーによる返却は行えません。

## 4 お問い合わせ先

---

製品に関するご質問等は、各地域の ETAS 支社までお問い合わせください。

### *ETAS 本社*

---

#### **ETAS GmbH**

Borsigstrasse 14	Phone:	+49 711 89661-0
70469 Stuttgart	Fax:	+49 711 89661-106
Germany	WWW:	<a href="http://www.etas.com/">www.etas.com/</a>

### *日本支社*

---

#### **イータス株式会社**

〒 220-6217		
神奈川県横浜市西区	Phone:	(045) 222-0900
みなとみらい 2-3-5	Fax:	(045) 222-0956
クイーンズタワー C 17F	WWW:	<a href="http://www.etas.com/">www.etas.com/</a>

### *その他の支社*

---

上記以外の各国支社および技術サポート窓口につきましては、ETAS ホームページをご覧ください。

各国支社	WWW:	<a href="http://www.etas.com/ja/contact.php">www.etas.com/ja/contact.php</a>
技術サポート	WWW:	<a href="http://www.etas.com/ja/hotlines.php">www.etas.com/ja/hotlines.php</a>

---

## 索引

### A

#### ASCET

- アンインストール 31, 33
- サンプルファイル 15
- アドオン製品のインストール 16
- 基本システムのインストール 12
- パスの設定 13

#### インストール

- ASCET の ~ 開始 12

### E

#### ETAS ライセンスマネージャ

- 開く 37

### あ

#### 安全に関する注意事項

- 本製品に関する特殊な要件 6

### い

#### インストール

- ASCET アドオンの ~ 16
- ASCET のアンインストール 31, 33
- 管理者特権がない場合 20
- 既存のバージョンに上書きする 18
- コマンドラインからの ~ 21
- サイレント 21
- サポートされていない OS への ~ 20
- システム要件 10
- 中止 17
- ネットワーク経由の ~ 22
- ネットワーク ~ 用データのカスタマイズ 27
- パスの設定 13

#### ベーシック 21

- 変更済みデータベースの統合 28
- 変更済みユーザープロファイルの統合 28

#### ユーザー定義 INI ファイル 22

- ユーザー特権 (Win7 の場合) 10
- ユーザー特権 (WinVista の場合) 10
- ライセンスファイルの ~ 38

### く

#### グレースモード 39

### こ

#### コマンドライン

- サイレントインストール 21
- ベーシックインストール 21
- ユーザー定義 INI ファイル 22

### さ

#### サイレントインストール 21

#### サンプルファイル 15

### て

#### デフォルトディレクトリ 30

### と

#### 問い合わせ先 42

### ね

#### ネットワーク経由のインストール 22-28

ひ

表記

- 規則 7
- 操作手順 7

へ

- ベーシックインストール 21

ら

- ライセンス 35
  - グレースモード 39
  - 借用 40
  - 状態 37
  - 有効期限についての警告 39
  - ライセンスファイル 36
  - ライセンスファイルのインストール 38
  - ライセンスモデル 35
- ライセンスファイルのインストール 38
- ライセンスモデル 35